

第21回環境工学連合講演会
The 21st National Congress for Environmental Studies

主催 日本学術会議土木工学・建築学委員会
共催 化学工学会, 環境科学会, 空気調和・衛生工学会, 高分子学会, 環境資源工学会, 資源・素材学会, 地盤工学会, 静電気学会, 大気環境学会, 土木学会, 日本化学会, ○日本機械学会, 日本建築学会, 日本水道協会, 日本セラミックス協会, 日本太陽エネルギー学会, 日本鉄鋼協会, 日本土壌肥科学会, 日本分析化学会, 日本水環境学会, 日本リスク研究学会, 日本冷凍空調学会, 廃棄物学会(50音順, ○印は幹事学会)

開催日 2007年4月24日(火), 25日(水)
会場 日本学術会議講堂/東京都港区六本木7丁目22-34, 電話(03)3403-1056
[交通]東京メトロ・千代田線『乃木坂駅』下車, 青山霊園出口を出てすぐそば

プログラム 総合テーマ 「現代社会が直面する課題と環境工学」

●第1日目(4月24日)●

9:10~9:15/開会

開会挨拶: 浦野紘平(横浜国立大学)

9:15~11:45/環境調和技術の進歩

[司会 中村 聡(日本化学会/東京工業大学)]

- 1-01 都市一般廃棄物処分場跡地の、空間リサイクル資源化
東畑郁生(地盤工学会/東京大学)
- 1-02 土壌洗浄法によるカドミウム汚染水田のオンサイト修復
牧野知之(日本土壌肥科学会/ (独) 農業環境技術研究所)
- 1-03 自動車環境対策の現状と課題
横田久司(大気環境学会/東京都環境科学研究所)
- 1-04 低温プラズマ複合プロセスに基づく新しい環境保全技術
大久保雅章(日本機械学会/大阪府立大学)
- 1-05 無機結晶の特性を活かした環境調和型金属触媒の開発
金田清臣(日本化学会/大阪大学)

13:00~14:00/特別講演

- 1-06 科学技術の進歩と環境
阿部博之(総合科学技術会議有識者議員)

14:15~16:45/エネルギーの持続と再生

[司会 坂本雄三(空気調和・衛生工学会, 日本建築学会/東京大学)]

- 1-07 地球環境のメガトレンドへの対応
森口祐一(環境科学会/ (独) 国立環境研究所)
- 1-08 持続型社会に果たす石炭資源の役割
島田荘平(資源・素材学会/東京大学)
- 1-09 本庄・早稲田地域でのG水素社会モデルの構築 -成果と課題-
勝田正文(日本冷凍空調学会/早稲田大学)
- 1-10 太陽熱利用の普及促進
伊藤定祐(日本太陽エネルギー学会/神奈川工科大学)
- 1-11 エネルギー消費50%削減を目指す住宅設計(仮題)
澤地孝男(空気調和・衛生工学会, 日本建築学会/国土交通省国土技術政策総合研究所)

●第2日目(4月25日)●

9:00~10:30/水の持続と循環

[司会 古米弘明(日本水道協会/東京大学)]

- 2-01 水活用社会における安全・安心を担保する都市水再生技術の革新
山本和夫(土木学会/東京大学)
- 2-02 安全安心な水道水の供給のための浄水技術-吸着と膜処理
松井佳彦(日本水道協会/北海道大学)
- 2-03 環境水中化学物質のリスクの捉え方(仮題)
中室克彦(日本水環境学会/摂南大学)

10:45~12:15/環境工学の視点と課題

[司会 尾張真則(日本分析化学会/東京大学)]

- 2-04 環境問題と分析化学
小熊幸一(日本分析化学会/千葉大学)
- 2-05 環境工学的観点からのエコサービスの新しい分類法と事例研究先端技術と環境を考える

山本良一（日本セラミックス協会／東京大学）

2-06 リスクの社会ガバナンスとそのあり方

青柳みどり（日本リスク研究学会／（独）国立環境研究所）

13:15～14:15／特別講演

2-07 環境学の広がりや環境研究への視座—生物人間とランドスケープからの発想—

進士五十八（日本学術会議環境学委員長／東京農業大学）

14:30～17:00／資源の持続と循環

〔司会 常田 聡（早稲田大学）〕

2-08 乾燥地植林による炭素固定システムの構築とバイオマス生産への展開

小島紀徳（化学工学会／成蹊大学）

2-09 廃プラスチックの地域循環型フィードストックリサイクル

吉岡敏明（廃棄物学会／東北大学）

2-10 レアメタル・白金族金属の現状とリサイクル技術

岡部 徹（日本鉄鋼協会／東京大学）

2-11 加速器質量分析をもちいたバイオマス度の測定と精密生分解

国岡正雄（高分子学会／（独）産業技術総合研究所）

2-12 分離技術の水処理への適用

芝田隼次（環境資源工学会／関西大学）

17:00～17:05／閉会

閉会挨拶：川本克也（第21回環境工学連合講演会実行委員長／（独）国立環境研究所）

参加費 無料。ただし、講演論文集代（定価5,000円）は講演会会場で徴収いたします。

参加の申込みは「第21回環境工学連合講演会参加申込み」と明記のうえ、氏名、勤務先、同所在地、所属協会を記入して、4月5日（木）までに郵送、FAX、E-mailにより、下記幹事学会宛にお申込み下さい。

定員に余裕がある場合は当日の参加も受け付けいたします。

なお、講演会に参加せず、講演論文集をご購入希望の方は「第21回環境工学連合講演会講演論文集購入希望」と明記のうえ、代金（5,000円）を添えて現金書留にて幹事学会事務局宛にお申込み下さい。講演会終了後に送本いたします。下記ホームページから直接申し込むこともできます。<<http://www.jsme.or.jp/kousyu2.htm>>

申込先 社団法人日本機械学会（担当 宮原）

〒160-0016 東京都新宿区信濃町35番地 信濃町煉瓦館5階

電話（03）5360-3505、FAX（03）5360-3509、E-mail：miyahara@jsme.or.jp